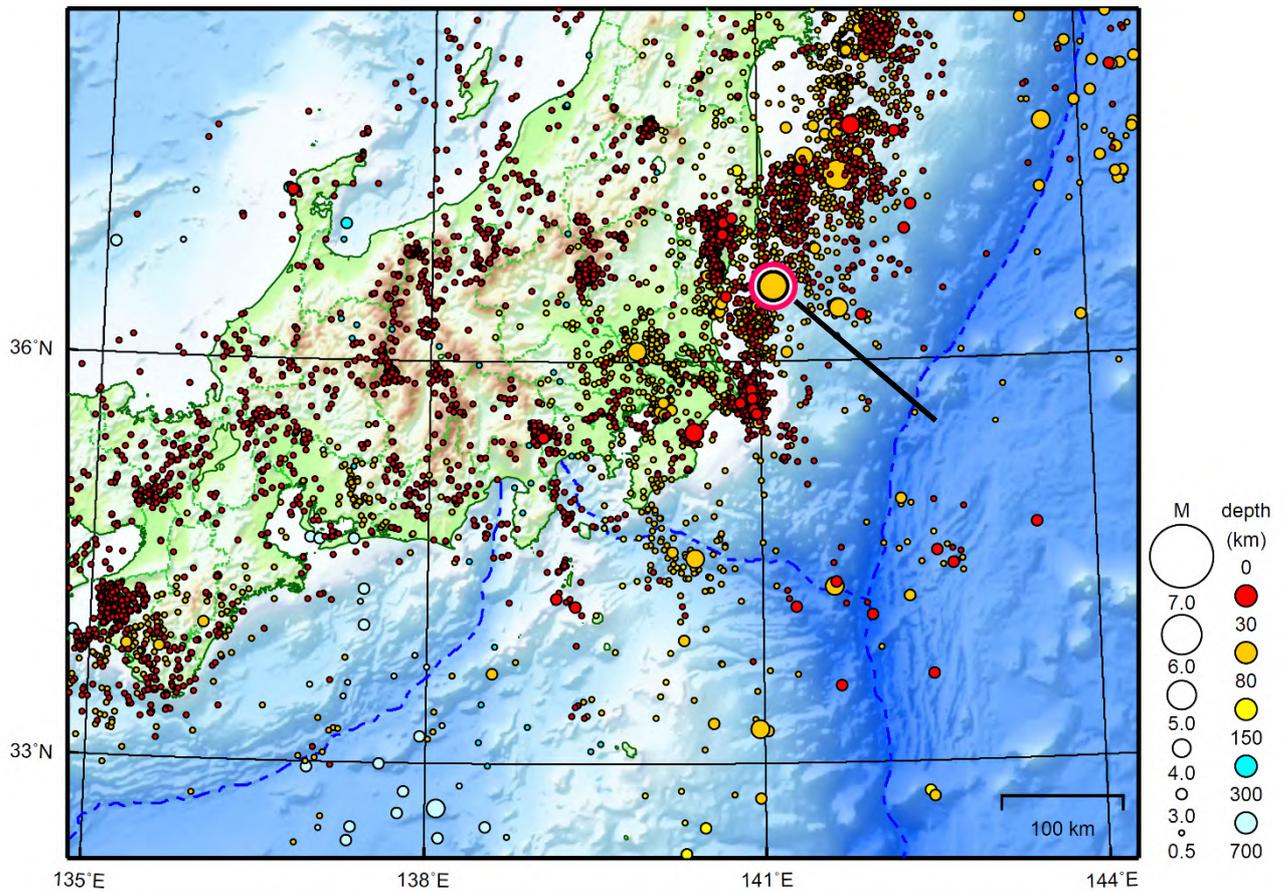


# 関東・中部地方

2016/08/01 00:00 ~ 2016/08/31 24:00

N=7016



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

8月19日に茨城県沖でM5.4の地震（最大震度4）が発生した。

（上図範囲外）

8月5日に硫黄島近海でM6.4の地震（最大震度2）が発生した。

8月26日に鳥島近海でM6.1の地震（最大震度2）が発生した。

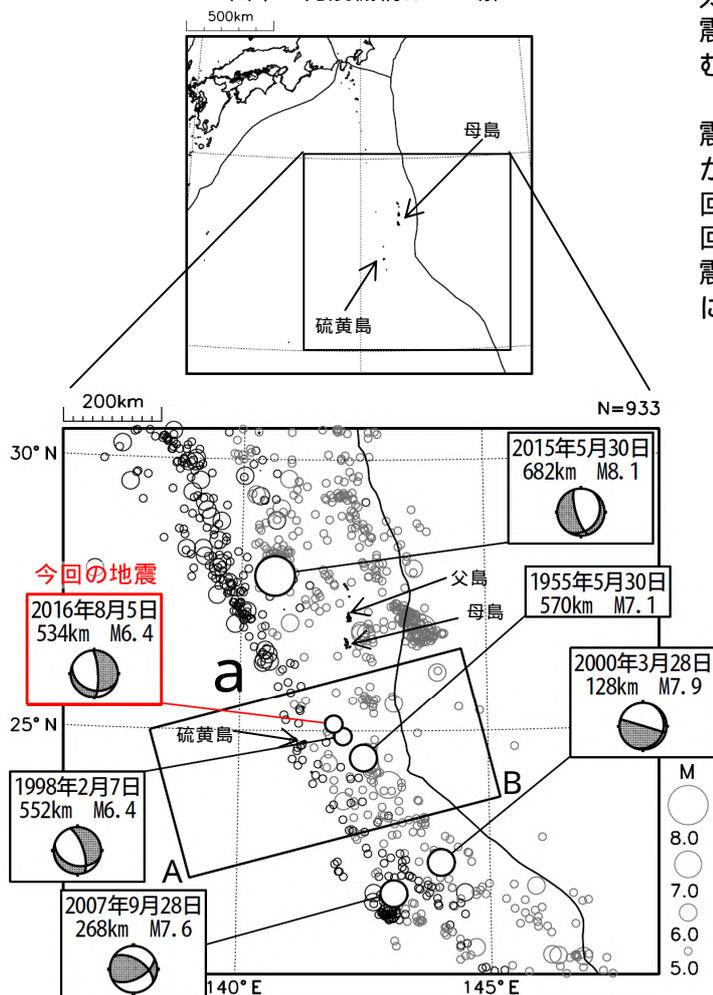
[ 上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。 ]

気象庁・文部科学省

# 8月5日 硫黄島近海の地震

震央分布図

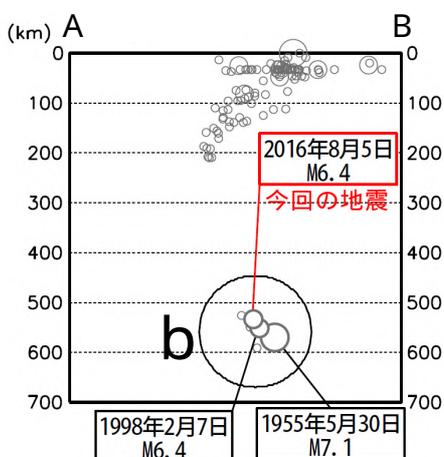
(1950年1月1日～2016年8月31日、  
深さ0～700km、M 5.0)  
100kmより深い地震を濃く表示  
図中の発震機構はCMT解



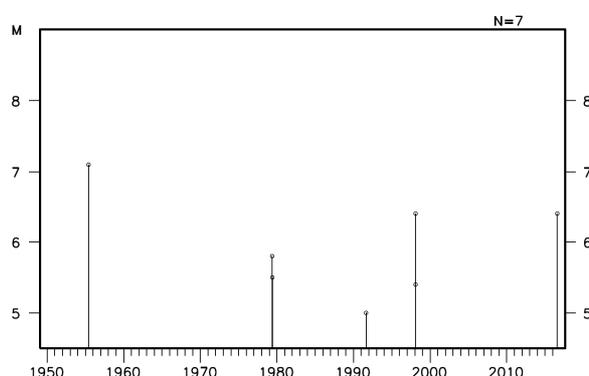
2016年8月5日01時24分に硫黄島近海の深さ534kmでM6.4の地震(東京都小笠原村で最大震度2を観測)が発生した。この地震は、太平洋プレート内部で発生した。この地震の発震機構(CMT解)は、太平洋プレートが沈み込む方向に圧力軸を持つ型である。

1950年1月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)は、M5.0以上の地震が時々発生する程度で、M6.0以上の地震は今回で3回目であった。1998年2月7日に、今回の地震とほぼ同じ場所でM6.4の地震(最大震度2)が発生した。また、1955年5月30日にはM7.1の地震が発生した。

領域a内の断面図(A-B投影)



領域b内のM-T図

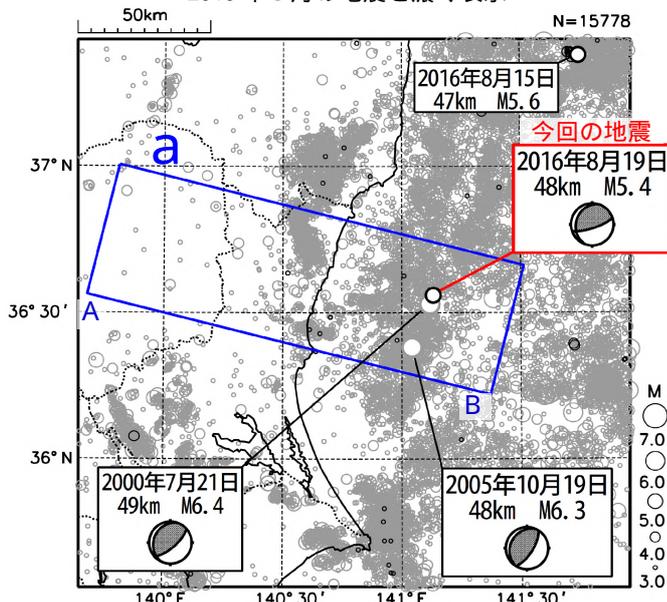


震源要素は米国地質調査所による。ただし、1997年以降の地震で、震央分布図中に吹き出しを付した地震の震源要素、CMT解は気象庁による。

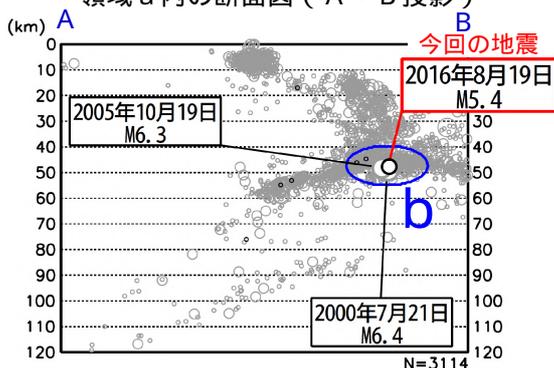
# 8月19日 茨城県沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2016年8月31日、  
深さ0～120km、M 3.0)  
2016年8月の地震を濃く表示



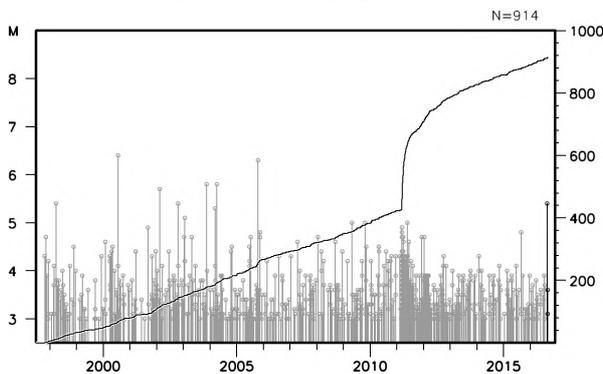
領域a内の断面図 (A - B 投影)



2016年8月19日21時07分に茨城県沖の深さ48km(太平洋プレートと陸のプレートの境界付近)でM5.4の地震(最大震度4)が発生した。この地震は、発震機構が北北西-南南東方向に圧力軸を持つ型である。

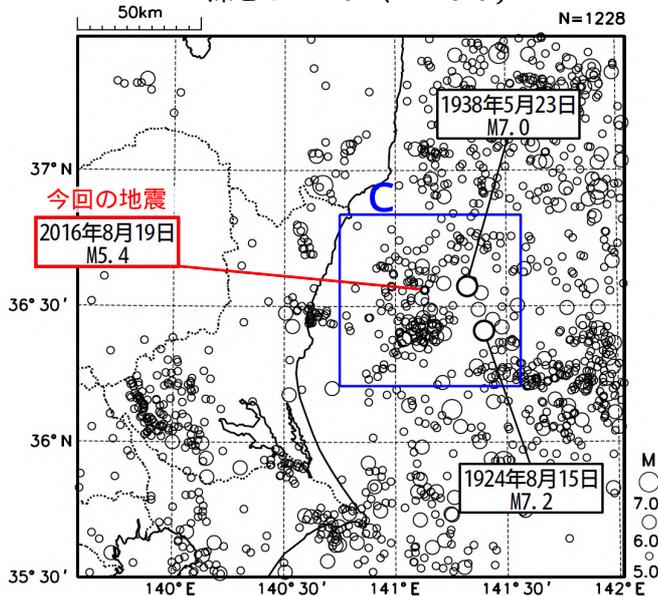
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、2000年7月21日に今回の地震とほぼ同じ場所でM6.4の地震(最大震度5弱)が発生するなど、2005年まではM5.0以上の地震がしばしば発生していた。2006年以降は、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の発生以降の地震活動が一時的に活発になった時期を含めても、今回の地震が発生するまでM5.0以上の地震は発生していなかった。

領域b内のM - T図及び回数積算図



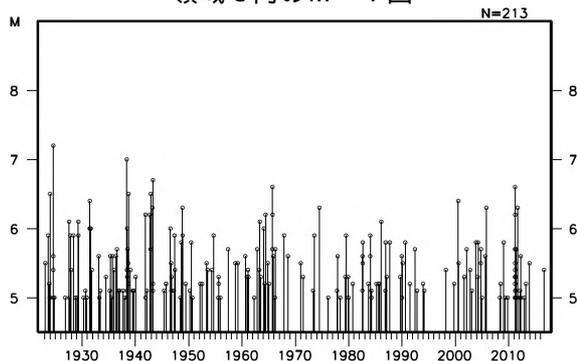
震央分布図

(1923年1月1日～2016年8月31日、  
深さ0～120km、M 5.0)



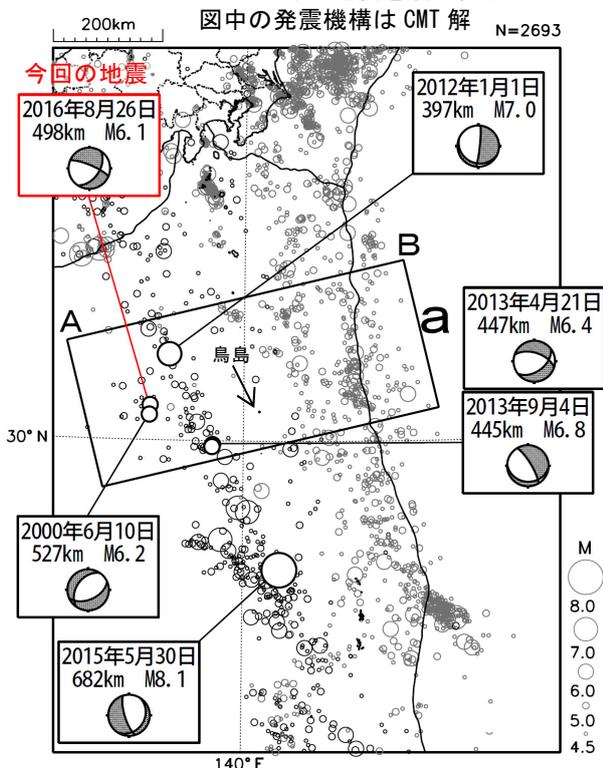
1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M7.0以上の地震が2回発生している。このうち1938年5月23日に発生したM7.0の地震では、福島県小名浜で83cm(全振幅)の津波が観測された(「日本被害地震総覧」による)。

領域c内のM - T図



# 8月26日 鳥島近海の地震

震央分布図  
(1997年10月1日～2016年8月31日、  
深さ0～700km、M $\geq$ 4.5)  
100kmより深い地震を濃く表示  
図中の発震機構はCMT解

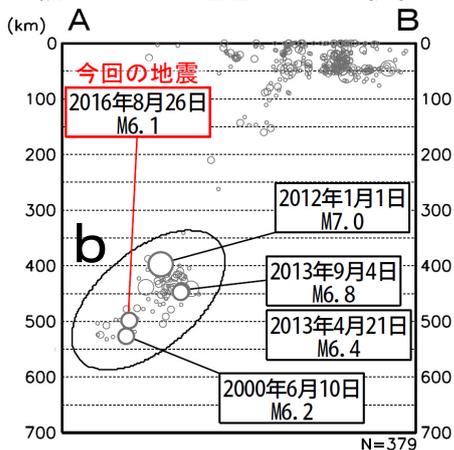


2016年8月26日02時04分に鳥島近海の深さ498kmでM6.1の地震(最大震度2)が発生した。この地震により、神奈川県横浜市で震度2を観測したほか、東北地方から小笠原諸島にかけて震度1を観測した。この地震は、太平洋プレート内部で発生した。この地震の発震機構(CMT解)は、太平洋プレートが沈み込む方向に圧力軸を持つ型である。

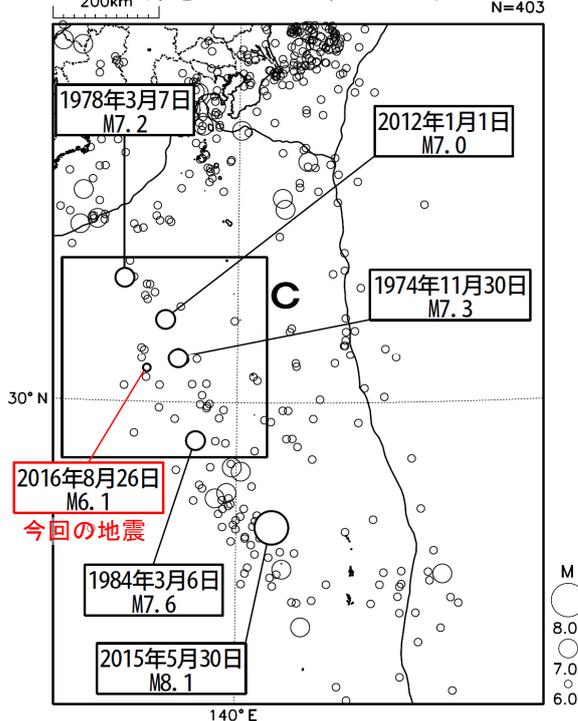
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M6.0以上の地震が時々発生しており、2012年1月1日にM7.0の地震(最大震度4)が発生した。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M7.0以上の地震が時々発生している。1984年3月6日にM7.6の地震が発生し、死者1人、負傷者1人等の被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。

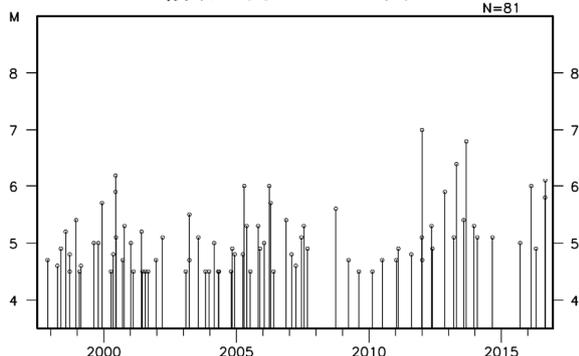
領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図  
(1923年1月1日～2016年8月31日、  
深さ0～700km、M $\geq$ 6.0)



領域b内のM-T図



領域c内のM-T図

